

入学料 徴収猶予 申請書

※入学料徴収猶予を申請し、許可された場合の入学料の納入期限は10月14日です。
※納入期限内に入学金が納付されない場合「除籍」となります。

宮崎大学長 殿

申請者欄、学資負担者欄は
それぞれ本人が自筆で記入
してください。

令和 6年 4月 1日

入学料納付困難なため、令和6年度入学料の徴収猶予をお認めくださるよう関係書類を添えて申請いたします。

申請者	所属	農 学部	獣医 学科・課程	1 年次
		研究科	専攻	年次
		(年 月 大学	学部卒業) …大学院1年次生のみ記入	
氏名	宮崎 葵	学籍番号 (受験番号) (●●●●●●)		

入学料徴収猶予申請後は、結果の通知があるまでは入学料は納入しないでください。入学料が納入された場合、原則として、徴収猶予申請を取り下げさせていただきます。

学資負担者	氏名	宮崎 太郎 (学資負担者が自署すること)
	住所	〒 (540 - 0002) ☎ (06) △△△△ - ○○○○ 大阪府大阪市○○町△△番地 (学資負担者が自署すること)

申請理由：入学料徴収猶予を希望するに至った家庭事情や、その他特に説明を要することを、申請者 本人の立場から具体的に記入してください。

現在の不況により、父の勤務する会社が、令和5年10月に倒産し、数ヶ月は失業保険を受給して
いました。令和6年1月に再就職しましたが、再就職先は賞与もなく以前より収入が減少しました。
また大学を卒業した兄は転職をくり返しており、安定した収入を得ることができていません。
さらに、同一生計である祖父母は農業を営んでいますが、祖母が長期療養者のため医療費が家計
を圧迫しています。そして就学者が私を含め5人おりますので教育にかかる費用もかさみます。
そこで、少しでも家計を助けるため、私の入学料・授業料は奨学金を利用して支払いたいと考えて
おり、奨学金の入金があるまでの間、入学料の徴収猶予を希望します。

【以下博士課程（博士後期課程含む）及び私費外国人留学生
指導教員等の推薦所見（指導学生の人物及び学業等について）

本人を主体にして記入してください。
記載内容は、申請時現在（令和6年4月
1日現在）において申請するに至った
事情、特に説明を要する事情、経済的
に授業料の納付が困難な理由を具体的
に記入してください。

指導教員等の所属・職・氏名

家庭調書 ①

学籍番号	新入生のみ受験番号 [●●●●●]	フリガナ氏名	ヤザキ アオイ 宮崎 葵	(18 歳)
				男 (○) ・ 女

大学院1年生で令和6年3月に宮崎大学を卒業した学生は、学部生時の学籍番号を記入してください。 []

住所等	本人	〒 (8 8 9 - 2 1 5 5) 宮崎市学園木花台西〇-〇 △△アパート×××号	家族	〒 (5 4 0 - 0 0 0 2) 大阪府大阪市〇〇町△△番地
		☎ 0 9 0 - 〇〇〇〇 - △△△△		☎ 0 6 - △△△△ - 〇〇〇〇

(注)

続柄 ○×欄	氏名	年齢	R6. 4. 1現在の職業	給与収入の計 (税込) (千円)	給与収入以外の所得計 (税込) (千円)
				本人	
父 ○	宮崎 太郎	47	会社員		
母	華子	49	会社員		
姉	さくら	25	会社員		
兄	樹	23	無職		
妹	拳	2	未就学児		
祖父	一郎	66	農業・年金		
祖母	璃子	64	農業手伝い 年金		

職業は、会社員、食品小売業、農業、国家公務員、地方公務員、小学校教諭などと具体的に記入してください。なお、主婦、家事手伝い、無職等もその旨記入し、空欄にしないでください。
R6. 4. 1現在の職業を記入してください。

**太線枠内は、
大学記入欄です。
申請者は記入できません。**

で囲んだ枠内は記入しないでください。

就学者は家庭調書②に記入。ここには記入しないでください。

非課税 該当なし ・ 該当あり

(収入状況)		本人			
続柄	区分		(千円)	(千円)	(千円)
給与収入 注1	給与・賃金				
	役員報酬				
	専従者給与				
	年金・恩給				
	失業給付金				
	生活扶助費				
	その他				
	計				
給与収入以外の所得 注2	商業				
	工業				
	農林業				
	漁業				
	その他の事業				
	家賃・地代				
	利子・配当				
	内職				
	親戚等の援助				
	その他				
	臨時所得	退職金			
	保険金				
	資産譲渡				
	山林所得				
	その他				
	計				

同居・別居を問わず申請者と生計を一にする方で、**就学者以外を全員**記入してください。
※基本的に同居は同一生計。別居していても扶養している場合や、収入があり生計は別だが同居している場合も同一生計
※配偶者がいる場合は、父又は母の欄を妻(夫)と修正し、氏名等を記入してください(他欄には記入しないでください)。
○×欄には、学資負担者には○を、別居者(単身赴任者などをいう)には×を付けてください。

**太線枠内は大学記入欄です。
申請者は記入できません。**

(注) □で囲んだ枠内(太線枠内)は、大学認定のため記入しないでください。

どちらかに○をつけてください。
※私費留学生は、「2:自宅外」に○をつけてください。

前年度受給していた奨学金について、いずれかに○をつけてください。

様式 (入申)

家庭調書 ②

学籍番号	新入生のみ 受験番号	●●●●●	フリガナ 氏名	ミヤザキ 宮崎	アオイ 葵	(18 歳) 男・女	
就学者	本人	※通学区別 1:自宅 2:自宅外	※前年度 奨学金 受給状況	1:日本学生支援機構 一種 2:日本学生支援機構 二種 3:日本学生支援機構 併用 4:日本学生支援機構 給付 5:その他 ()	受給額 (年額) 千円		
	続柄	氏名	※設置区分	※在学学校 (学年)	※通学区分	前年度状況 (設置区分「1:国立」の就学者のみ記入)	
	姉	宮崎 杏奈	1:国立 2:公立 3:私立	1:小学校 2:中学校 3:高校 4:大学 5:高専 6:専修学校 (高等) 7:専修学校 (専門) 学校名 ○○大学大学院 (2年)	1:自宅 2:自宅外	1:全額 2:半額 3:一部 4:無	1:全額 2:半額 3:一部 4:無
	弟	悠人	1:国立 2:公立 3:私立	1:小学校 2:中学校 3:高校 4:大学 5:高専 6:専修学校 (高等) 7:専修学校 (専門) 学校名 △△高校 (3年)	1:自宅 2:自宅外	1:全額 2:半額 3:一部 4:無	1:全額 2:半額 3:一部 4:無
	妹	結菜	1:国立 2:公立 3:私立	1:小学校 2:中学校 3:高校 4:大学 5:高専 6:専修学校 (高等) 7:専修学校 (専門) 学校名 □□中学校 (1年)	1:自宅 2:自宅外	1:全額 2:半額 3:一部 4:無	1:全額 2:半額 3:一部 4:無
弟	陽太	1:国立 2:公立 3:私立	1:小学校 2:中学校 3:高校 4:大学 5:高専 6:専修学校 (高等) 7:専修学校 (専門) 学校名 () (年)	1:自宅 2:自宅外	1:全額 2:半額 3:一部 4:無	1:全額 2:半額 3:一部 4:無	
特別 控除	母子父子世帯	※ 母 無 死亡 ・ 生別 (年 月) ※ 父 無 死亡 ・ 生別 (年 月)	0:該当せず 1:該当				
	障害者のいる世帯	続柄 (祖母) ※ 障害者・介護認定者(要介護4以上)・原爆被害者(障害者) 手帳番号 (○○県第○○○○○○○号)	0:該当せず 1:該当				
	長期療養のいる	続柄 (祖母) 療養期間 R3年 12月 月から ※ 入院 ・ 通院 ・ 自宅療養	合計年額 (千円)				
	学資負担者の別居	続柄 () 療養期間 年 月 月から ※ 入院 ・ 通院 ・ 自宅療養					
	風水害等の災害を受けた世帯	被害 特別控除については、該当がある場合に記入してください。	被害額 (千円)				
大学認定	家族数 人	多子世帯 0:該当せず 1:該当	生活保護世帯 0:該当せず 1:該当	独立生計者 0:該当せず 1:該当			
	申請区分及び理由 100:一般 200:地震 300:風水害 400:火災 500:事情(学資負担者死亡) 600:学力特例 700:家計特例	辞退					

太線枠内は大学記入欄です。
申請者は記入できません。

太線枠内は大学記入欄です。
申請者は記入できません。

・学年については、令和6年4月1日現在で記入してください。
・小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学(大学院、専攻科、別科及び短期大学を含む。放送大学については、全科履修生、特科生に限る)、盲学校、ろう学校、養護学校及び専修学校(高等課程、専門課程)に在学する方を記入してください。これ以外の専修学校の一般課程及び各種学校(予備校・職業訓練校・その他)に在学している方は、「就学者を除く家族」欄に記入してください。

太線枠内は大学記入欄です。
申請者は記入できません。

特別控除については、該当がある場合に記入してください。

※印は、該当するものを○で囲んでください。

(注) 就学者で、国立大学法人及び独立行政法人国立高等専門学校に在学されている方の設置区分は「1. 国立」となります。

(注) 太線で囲んだ枠内(太線枠内)は、大学認定のため記入しないでください。